

令和4年9月14日

保護者の皆様へ

藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

秋冷の候、保護者の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校教育活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年4月19日（火）に3年生で実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果概要についてお知らせします。

1. 学力面について

① 国語について

本校の平均正答率は、大阪府平均・全国平均を下回っています。

学習指導要領の内容の中で、「知識及び技能」の「我が国の言語文化に関する事項」が大阪府平均と全国平均の両方を上回りました。一方、「思考力・判断力・表現力」として、「話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと」に関しては、すべて大阪府平均・全国平均を下回っています。経年での比較をすると『書くこと』について、大阪府平均-2~-6%でしたが、今年度は-0.3%となりました。

問題形式別でみると、「選択式」で解答する問題は全国平均には届かなかったものの大阪府平均は上回りました。しかし、「短答式」では全国平均-5.1%、「記述式」では-9.3%でした。正答率は下回っているものの、無解答率は改善してきています。自分の考えを表現する取り組みを授業中に行っていることがつながりつつあると思われます。今後は、自分の考えを深め、整理しながら条件にあった文章を記述する＝「条件を伴う記述」を重点的に取り組んでいきます。

② 数学について

本校の平均正答率は、大阪府平均・全国平均を下回っています。

学習指導要領の領域別で経年比較をすると、最大-10%以下のときもありましたが、今年度は-0.5~-5.5%となっています。特に「関数」では本校は大阪府平均-0.7%、全国平均-0.5%にまで向上してきています。

問題形式別でみると、今まで苦手としていた記述式問題については大阪府平均-1.9%でしたが、5問中の2問（「データの活用」と「関数」）が大阪府・全国平均ともに正答率が上回り向上の傾向がみられます。これは記述式による解答形式の問題でも簡単にあきらめないで解答する訓練（小テストなどで記述式に触れる機会を増やしたことなど）、上手な文章でなくても自分の言葉で説明してみる場面を授業に多く組み込んでいることが生かされてきていると考えられます。これからも問題で与えられている長い文章を読み取り、解答するにあたっての必要な条件を見つけ出して、解答に結び付けたことを表現する（記述する）という一連の流れを練習していく必要があります。そのためにも過去に学習した内容を定着させることが必要となり、復習を繰り返し、スパイラル的に継続することが有効であると考えます。それには、後にも触れますが、家庭学習の充実がたいへん重要になってきます。

② 理科について

本校の平均正答率は、大阪府平均・全国平均を下回っています。

学習指導要領の領域別でみると「粒子」を柱とする領域は大阪府平均+0.5%でしたが、「エネルギー」「生命」「地球」を柱とする領域についてはいずれも下回っています。

問題形式別では「短答式」で大阪府平均・全国平均ともに上回りました。一方「選択式」「記述式」で大阪府平均・全国平均ともに下回っています。数学でも同じことがいえましたが、実験やレポートの結果から解答に必要な部分を読み取ることに課題があります。図表を伴った文章表記問題から解答につながる項目を読み取り、文章記述で説明した解答を作成する練習に取り組んでいきます。

2. 生活面や学習状況について(生徒質問紙から)【数値は%】

①家庭生活に関わる項目

質問事項	本校	昨年比	大阪府	全国
朝食を毎日食べていますか	91.3	+8.7	89.5	91.9
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	75.5	+2.6	78.9	79.9
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	90.4	-2.5	91.4	92.2
普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか	3時間以上 41.8	-3.3	3時間以上 37.7	3時間以上 29.8
普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか	3時間以上 47.0		3時間以上 36.9	3時間以上 29.5

☆ 朝食については学力との相関関係が指摘されており、きっちりと朝食を摂るなどの基本的な生活習慣を身につけることが重要です。また、規則正しい生活リズム(早寝・早起き・朝ごはん)を作ることも大切です。特に、スマホ等の使用が睡眠時間に影響を与えると指摘されており、使用時間や使い方を管理することが重要です。

☆ 昨年と比較すると、朝食の喫食率が上がっています。1日のスタートとして、朝食を摂るという習慣はとても大切です。忙しい朝ですが、基本的な生活習慣の確立に向けて家庭でも意識していただき、ご協力をお願いします。

☆ テレビゲームやスマートフォンでのSNS、動画視聴に費やす時間が多いことが課題です。このことは睡眠時間の確保にも影響していることが予想されます。情報モラルも含め、スマートフォンの使用について引き続き、学校でも啓発を行っていきます。ご家庭でもスマートフォンの使用についてのルールづくりなどにもご協力をお願いします。

②家庭学習に関わる項目

質問事項	本校	昨年比	大阪府	全国
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	44.9	-8.0	54.5	58.5
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)1日どれくらいの時間、勉強をしますか	1時間以上 57.1 全くしない 14.8	1時間以上 -10.0 全くしない +6.4	1時間以上 67.7 全くしない 8.5	1時間以上 69.5 全くしない 4.9
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか	10分以上 37.7 全くしない 53.6	10分以上 -4.8 全くしない +14.9	10分以上 39.9 全くしない 47.4	10分以上 48.6 全くしない 39.0

☆ 家庭での学習習慣に課題があります。「1時間以上学習する」、「自分で計画を立てて勉強する」割合が前回と比べて下がっています。前述の「テレビゲームやスマートフォンの使用時間が長い」ことにもつながっていることが予想されます。毎日少しの時間でも家庭で机に向かうことはとても大切です。自分で計画を立て、その日の授業内容を教科書やノートを開いて確認することや、次の授業で学習する内容を読んでおくだけでも効果があります。

☆ 読書をする生徒が昨年より減少しています。学習において、まず問題文章を読み取ることが本校の課題でもあります。文章を読解する力は国語だけでなくすべての教科に必要です。時間があれば、読書をする習慣をつけましょう。

☆ 休み時間や放課後も学校図書館の開放を行っています。また毎週火、金曜日に開催している「放課後ゆめ教室」では教員や学生ボランティアが学習の支援をしてくれます。自主学習の習慣をつけるためにぜひ利用ください。

③学校生活・自分に関わる項目

質問事項	本校	昨年比	大阪府	全国
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	93.9	-2.9	95.9	96.4
学校に行くのは楽しいと思いますか	73.0	+0.1	80.7	82.9
自分にはよいところがあると思いますか	63.3	+3.9	75.2	78.5
将来の夢や目標を持っていますか	66.4	+7.0	64.5	67.3

- ☆ 「安心安全アンケート」と教育相談、個人面談を毎学期行っています。これらを最大限に活用し、出てきた状況については全教職員で共有しています。あらゆる場面をとらえ、いじめを見逃すことなく、早期発見、早期解決に向けた取り組みが何よりも重要だと考えています。日々の教育活動の中でも子どもの小さな変化を見逃さず、子どもの困り感などを受けとめるなど、迅速かつ適切な対応が行えるよう取り組んでいきます。
- ☆ コロナ禍の厳しい状況の中、子どもたちも頑張って学校生活を送ってくれています。生徒会や各委員会を中心とした活動や行事の取り組みを通して、充実・成功体験等、たくさんの貴重な経験を増やし、生徒の良いところを見つけ、褒め、伸ばす教育を続けています。また、教職員によるポジティブな声掛けを引き続き行い、生徒の自己肯定感や自己有用感等、自分に自信をもてる子どもたちを育てるよう取り組んでいきます。
- ☆ 「夢や目標を持っている」については、前回より向上しています。将来の夢や目標を持つことにより、今の自分を捉えることにもつながれると考えます。目標達成のためには「何が必要か」、「何をすればよいのか」を考え、前向きな活動につながる支援を行っていきます。
- ☆ 進路や将来のことを語り合う等、子どもたちが夢や希望を持てる雰囲気を作り、話し合う機会を作っていただければと思います。そして、少しでもお気づきの事、困っている事があれば遠慮なく学校にご相談ください。

④授業に関わる項目

質問事項	本校	昨年比	大阪府	全国
1、2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	73.5	+3.1	76.1	79.2
1、2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	67.3	+27.3	63.0	63.3
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	66.8	+2.3	75.2	78.7
1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(週1回以上)	95.4	+79.3	71.7	80.6
学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(週1回以上)	54.1	+45.7	40.6	43.5
学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(週1回以上)	42.8		34.8	35.3

- ☆ 上記の質問事項ではすべて前回より向上しています。話し合う活動や発表する活動を意識して取り入れています。それにより、主体的に考える姿勢を育むことにつながっています。今後は自分が考えた内容をさらにうまく伝えられることを工夫していきます。
- ☆ PC・タブレットなどのICT機器を使用する授業が日常となってきています。意見の共有や創作物の発表などICT機器を効果的に活用して、学力向上につながってほしいと思います。

3.最後に

全国学力・学習状況調査は毎回中学3年生を対象とし、同じ子どもたちの経年変化を現すものではないため、単純に前回の結果との比較はできません。また、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないため、生徒の身につけるべき学力の一部分の結果であることに留意する必要があります。ただし、その結果は、本校の取り組みを検証し、取り組み等の改善を図る一つの目安となると考えています。

学力調査の結果では平均正答率は全国・府に比べて低くはありますが ICT の活用など学力向上に向けた取り組みの成果が現れている部分もあります。今後も課題解決に向けて、考えをまとめ書くこと、話し合い活動、発表する場を積極的に取り入れるなど、「学び合い」を通して「主体的・対話的で深い学び」へとつなげる取り組みを進めていきたいと思ひます。

一方で、子どもたちの学力向上・健やかな成長には、基本的な生活習慣の確立、家庭学習の定着は欠かせません。また、学力に大きな影響を与えていると言われているスマホ等の取り扱ひは、とても重要です。学校でも、ネットの危険を学ぶ講習会等の学習を取り入れていますが、トラブルは後を絶ちません。ご家庭でも、スマホやオンラインゲーム等の管理やルールについて、もう一度話し合っただき、子どもたちがそれらと上手に付き合っけるようご協力をお願いします。

学校と家庭が連携を図り、子どもたちと向き合ひ、「わかりやすく伝える・子どもの思ひを聞く(子どもが話せる環境づくり)」ことが何よりも大切です。子どもたちの健やかな成長のためにも、学校・家庭・地域が手を携え取っ組んでいきたいと思ひます。今後とも、ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。